

よすが苑での生活について



2年 中野 康太郎  
なかの こうたろう

私が、このよすが苑に引越してきて感じたことは、とても設備が整っており、しっかりとした生活を送れる寮だということでした。また、野球部の生徒が多いので、よりチーム内での絆が深まると感じています。そのため、今まで以上に学校生活や野球に専念できる寮だと感じました。最初は、寮を移りたくないという気持ちもありましたが、設備や周りの環境の良さを肌で感じ、よすが苑で頑張っていきたいという気持ちが強くなりました。寮を移ってから



あまり日は経っていませんが、寮生だけでなくよすが苑のスタッフの方ともコミュニケーションが取りやすいので、一日一日がとても充実しています。また、自転車通学になり、地域の方と触れ合う機会も増えると思うので、川高生としての立ち振る舞いをしっかりとしていきたいです。このすばらしい環境に感謝しながら学校生活を乗りあるものにしていきたいと思います。



3年 大石 瑞貴  
おおいし みずき

私がこのよすが苑で意識をしたことは2つあります。1つ目は寮生の誰よりも早く行動するということです。私はこの春から最上級生となり、このよすが苑の寮長をやることになりました。誰よりも早く行動する習慣を身につければ、寮での生活はもちろん部活動や学校生活でも役に立つと思います。最上級生らしい振舞いを心掛けていきたいです。2つ目は協力し合いながら生活することです。このよすが苑は、現在野球部が多く入寮しています。そのため、コ



ミュニケーションがより深く図ることができるので下級生が困っていたら最上級生としてサポートをしていきたいと思っています。また、野球部としてのコミュニケーションも常に取れると思うので、夏の大会に向けて有意義な時間を寮で過ごしていきたいと思っています。このように共同生活をすることで協力することの大切さを学び、自分自身の成長に繋げることはもちろんのこと、新しくできたこのよすが苑を誇れる寮にしていきたいです。

